

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 322

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

録

目次

- | | |
|---|---|
| 1. フロッピーディスクとデータセットのファイル変換コマンド
FLOPPYの公開について | 1 |
| 2. AIRによるINSPEC収集雑誌データベース
(INSPEC-J)の検索について | 2 |
| 3. システム増強計画の変更について | 5 |
| 4. 11月以降の計算サービスについて | 5 |

1. フロッピーディスクとデータセットのファイル変換コマンドFLOPPYの公開について

センターでは、パソコンで作成した8インチフロッピーディスクファイルとデータセットの相互変換サービスを開始しました。

サポートフロッピーは以下の3種類です。

CP/M

NBASIC (NEC PCシリーズのN88BASIC)

FBASIC (富士通 FMシリーズのFBASIC)

コマンド名	オペランド
FLOPPY	[CPM NBASIC FBASIC]

使用例

READY

FLOPPY

SELECT FLOPPY TYPE

1. =====> CPM
2. =====> NBASIC
3. =====> FBASIC

2

*** FPUTY001 M FPU, DUMMY ***

フロッピーをフロッピーディスク装置にセットし、START 釦を押してREADY ランプを確認する。

```
SELECT NO.  
1. FLOPPY FILE ==> HOST DATASET  
2. HOST DATASET ==> FLOPPY FILE  
3. FLOPPY DISK INITIALIZE  
4. END
```

1

```
EXAMPL.E01 3 EXAMPL.E02 10 EXAMPL*E03 1 TEST00*1 5  
** (.)=>BINARY ( )=>ASCII (*)=>MACHINE LANGUAGE **
```

ディレクトリが表示される

```
SELECT INPUT FLOPPY FILE ?
```

EXAMPLE02

```
SELECT OUTPUT DATASET NAME ?
```

EX02.DATA

```
*** FLOPPY==>DATASET COMPLETED ***
```

指定したファイルの内容がデータセットに複写される

```
SELECT NO.  
1. FLOPPY FILE ==> HOST DATASET  
2. HOST DATASET ==> FLOPPY FILE  
3. FLOPPY DISK INITIALIZE  
4. END
```

4

```
** FPUTY002 K FPU, DUMMY **
```

```
READY
```

※FLOPPY コマンドを使用できる端末は、2F オープンMT 装置前の4台に限定されています。

PC-9800 シリーズの5インチ利用者のために、2F フロッピーディスク装置横にPC-9801 M2 を設置しております。

PC-9801M2 で使用できるフロッピーディスクは以下の4種類です。

- 8インチ両面倍密度 (8-2D)
- 5インチ両面倍密度 (5-2D)
- 5インチ両面倍密度倍トラック(5-2DD)
- 5インチ両面高密度 (5-2HD)

2. AIRによるINSPEC収録雑誌データベース(INSPEC-J)の検索について

INSPEC-Jのための情報検索システムを、従来のFAIRS-I/JEFからAIRに変更します。FAIRS-I/JEFによるサービスは10月31日までとします。

INSPEC-Jは、INSPECに収録されている雑誌に関するデータベースで、各レコードは表1に示す項目からなっています。雑誌正式名とともに雑誌略記名が与えられていますが、この雑誌略記名がINSPEC-A, B, Cの文献データベースでは雑誌名として使われています。このことにより、INSPEC-Jは、INSPEC-A, B, Cの検索結果の雑誌に関する詳細情報を知るのに用いることができます。また、INSPEC-A, B, Cでは雑誌名による検索が可能ですが、検索キーとなる雑誌略記名を知るのにINSPEC-Jを用いることもできます。

検索に使用できるコマンドは、AIRのコマンドで、INSPEC-A, B, Cを検索する場合と全く同じです。INSPEC-Jの項目名と定義を表1に示します。キーワード索引はFT(雑誌正式名)、AT(雑誌略記名)から作成し、項目値索引はAN(雑誌番号)、CO(CODEN)、CN(出版国名)の3項目について用意しています。

表1 INSPECJの項目

項目名	内 容	索 引	標準出力
AN	雑誌番号	項目値	
TI	雑誌(正式)名	キーワード	○
AT	雑誌略記名	キーワード	○
CO	CODEN	項目値	
PU	出版社		○
CN	出版国名	項目値	
AD	追加所在地		
LA	使用言語		○
AB	要約言語		
FI	創刊年		
LI	最終発行年		
NT	補足事項		

次に使用例を示します。下線部が利用者の入力部分です。

使用例

- ```
(1) LOGON ISS F1234/PASSWORD
 KDS70001I F1234 LAST ACCESS AT ...
 READY
(2) AIR INSPECJ
(3) .LOOK DATABASE
 DATABASE REMARKS
 INSPEC-J data base 4712 records (1985)
 INSPEC-J data base consists of the journals in INSPEC.
```

```

(4) .L
LISTING OF ELEMENT(S)
&AN ACCESS_NO *TI TITLE *AT ABBR_TITLE
&CO CODEN PU PUBLISHER &CN COUNTRY
AD ADD_ADDRESS LA LANGUAGE AB ABST_LANGUAGE
FI FIRST_ISSUE LI LAST_ISSUE NT NOTE
* ... KEYWORD INDEXED, & ... ITEM VALUE INDEXED

(5) .L_EL(AB LI)
REMARKS OF ELEMENT (AB,ABST_LANGUAGE)
This field contains the language or languages of the article
summaries in the journal. For English journals and other journals
where the summaries and articles are in the same language, this
fields is seldom present.
REMARKS OF ELEMENT (LI, LAST_ISSUE)
This field contains the formal publication date of the last issue
received by INSPEC, where the journal is no longer published or
covered by INSPEC.

(6) .FIND ACM MATH
 8 = ACM
 101 = MATH
1: 1 DOCUMENT(S) FOUND

(7) .DISPLAY
1: F ACM MATH
 1/ 1
TI = ACM Transactions on Mathematical Software
AT = ACM Trans. Math. Software (USA)
PU = Association for Computing Machinery, 11 West 42nd Street, New York, NY
10036
LA = English

(8) .D_EL(ALL)
1: F ACM MATH
 1/ 1
AN = 00025
TI = ACM Transactions on Mathematical Software
AT = ACM Trans. Math. Software (USA)
CO = acmscu
PU = Association for Computing Machinery, 11 West 42nd Street, New York, NY
10036
CN = USA
LA = English
AB = English
FI = March 1975

(9) .F_CN=JAP?
1: 322 = JAPAN
2: 9 = KOREA
3: 1 = KUWAIT
4: 2 = LIBYA
5: 1 = MALAYSIA
6: 10 = MEXICO
7: 234 = NETHERLANDS
8: 15 = NEW ZEALAND
9: 2 = NORTHERN IRELAND
SELECT NUMBERS: 1
+E
2: 322 DOCUMENT(S) FOUND

(10) .D
2: F_CN=JAP?
 1/ 322
TI = ABU Technical Review
AT = ABU Tech. Rev. (Japan)
PU = Asian Broadcasting Union, Broadcasting Centre, 2-2-1 Jinnan, Shibuya-
ku, Tokyo 150
LA = English
+-
 2/ 322
TI = Academic Reports, Faculty of Engineering, Tokyo Institute of
Polytechnics
AT = Acad. Rep. Fac. Eng. Tokyo Inst. Polytech. (Japan)
PU = 1583 Iiyama, Atsugi-shi, Kanagawa 243-02
LA = Japanese, English
+E

(11) .END
READY

(12) LOGOFF

```

- (1) T S Sセッションを開始します。
- (2) A I Rを起動しています。データベースとしてINSPECJを選択しています。
- (3) L O O Kコマンドを用いてINSPECJデータベースの説明を表示しています。INSPECJには、現在4.712件あることがわかります。
- (4) L O O Kコマンドを用いてINSPECJデータベースの項目定義を表示しています。項目名が表示されています。\*、&はそれぞれキーワード索引、項目値索引が作られている項目です。
- (5) L O O Kコマンドを用いて項目A B, L Iの説明を表示しています。
- (6) F I N Dコマンドを用いて、キーワードにA C MとM A T Hをもつ雑誌を求めています。A C M, M A T Hをキーワードにもつ雑誌がそれぞれ8件、101件あり、両方をキーワードにもつ雑誌が1件あることがわかります。この検索集合には集合番号1が割り当てられています。
- (7) D I S P L A Yコマンドを用いて標準の出力(雑誌名、雑誌略記名、出版社、使用言語)を行っています。
- (8) D I S P L A Yコマンドを用いて、オペランドにE L ( A L L )を付けることにより、全項目の値の出力を行っています。
- (9) F I N Dコマンドを用いて、項目C Nの値がJ A P ?のものを検索しています。一覧表示に続く促進メッセージ+に対して1、Eを入力することにより、J A P A Nを選択しています。項目C Nの値がJ A P A Nのものは、322件見つかりました。この検索集合には集合番号2が与えられています。
- (10) D I S P L A Yコマンドにより結果を表示しています。A I Rは、標準では1件ずつ出力します。1件分の出力が終わると、(もし次の雑誌があれば)促進メッセージ+を出力し、次の出力を行うかどうかを利用者に問い合わせてきます。ここで復改キー(R E T U R Nキー)を押すと次の雑誌が表示されます。それ以外の任意の文字の入力でD I S P L A Yの処理は終わります。表示は雑誌名についての辞書式順序で行われます。
- (11) A I Rを終了しています。
- (12) T S Sを終了しています。

(データベース室 電(内)2510)

### 3. システム増強計画の変更について

11月下旬にシステムの増強を行い、12月2日より増強されたシステムで運用することをセンターニュースでお知らせしましたが、都合によりこの増強を一時見合わせる事となりましたのでご了承ください。なお今後の予定はセンターニュースなどでお知らせします。

#### 4. 11月以降の計算サービス時間について

60年11月1日から61年2月28日までの計算サービス時間は次のとおりです。

| 業 務 項 目                   | 1 1 月                                                         | 1 2 月 ~ 2 月                                                   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| クローズLP出力                  | (月) 12:30 ~ 16:45<br>(火)~(金) 9:00 ~ 16:45<br>(土) 9:00 ~ 12:00 | (月) 12:30 ~ 20:00<br>(火)~(金) 9:00 ~ 20:00<br>(土) 9:00 ~ 12:00 |
| センター内TSS<br>オープン利用機器      | (月) 12:30 ~ 22:00<br>(火)~(金) 9:00 ~ 22:00<br>(土) 9:00 ~ 16:00 | (月) 12:30 ~ 1:00<br>(火)~(金) 9:00 ~ 1:00<br>(土) 9:00 ~ 17:00   |
| センター外TSS<br>RJE<br>ネットワーク | (月) 12:30 ~ 24:00<br>(火)~(金) 9:00 ~ 24:00<br>(土) 9:00 ~ 17:00 | (月) 12:30 ~ 2:00<br>(火)~(金) 9:00 ~ 2:00<br>(土) 9:00 ~ 17:00   |

- 備考
1. 毎週月曜日は計算機システムの保守のため12時30分から計算サービスを行います。
  2. 16時45分以降は無人運転となっており、システム障害が発生した場合には、障害発生後約15分後に自動的に再開します。ただし、20分経過後に再開できない場合は計算サービス打切りの処置をとらせていただきます。
  3. 16時45分以降のラインプリンタ出力は、ターミナル室のオープン出力用日本語ラインプリンタ装置を利用してください。使用法はターミナル室に掲示しています。
  4. 延長運転を行う場合はそのつどセンターニュースで通知します。

(業務掛 電(内) 2518)